

東京都三士会共通「効果の見える生活期リハビリテーション評価表（訪問版）」ver1.1

氏名： _____ (男・女) 生年月日： M・T・S・H 年 月 日 ()

疾患名： _____ 既往症： _____

介護度： 非該当 / 要支援 1・2 / 要介護 1・2・3・4・5 記入者名： _____ (職種)

<支援方針>

<生活目標>

生活の目標	自己評価	①評価日	②評価日
		(年 月 日)	(年 月 日)
<ご本人から聞かれた希望>	実行度	/ 10	/ 10
<達成可能な目標>	満足度	/ 10	/ 10
<ご本人から聞かれた希望>	実行度	/ 10	/ 10
<達成可能な目標>	満足度	/ 10	/ 10

<ご家族の希望>

<リスク>

<1日の過ごし方>

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
①評価日																								
②評価日																								

<生活状況>

大	評価項目							予後予測	実際に行っている状態	環境 (人的・物理的)	問題点 ・身体 ・高次脳 ・環境 ・精神 ・認知 など	優先項目	優先項目にした根拠
	中	自立	見守り	言語指示	身体介助	全介助	主観的 実行度						
I 基本動作	①寝返り	5	4	3	2	1	/10	殿部のすらし動作(可・不可) つかまり(有・無) ふとんのかけはずし(かける・はぐ)	柵の使用(有・無) マット(硬質マット・除圧マット・エアマット)				
	②起き上がり	5	4	3	2	1	/10	ふとんのかけはずし(かける・はぐ) つかまり(有・無)	柵の使用(有・無) 背上げの使用(有・無) マット(硬質マット・除圧マット・エアマット)				
	③座位	5	4	3	2	1	/10	耐久性(有・無) 重心移動(可・不可) つかまり(有・無) リーチ範囲(狭・広)	背もたれ(有・無) 座面(硬・普通・軟) 介助バー(有・無)				
	④立ち上がり	5	4	3	2	1	/10	つかまり(有・無) ブッシュアップ(有・無) 前方重心移動(可・不可)	評価場面() 座面高(低・普通・高) 手すりの使用(有・無)				
	⑤立位	5	4	3	2	1	/10	耐久性(有・無) 重心移動(可・不可) つかまり(有・無) リーチ範囲(狭・広)	支持物の使用(有・無) 床面(フローリング・畳・カーペット・滑り止め)				

II 移動	屋内	⑥歩行	5	4	3	2	1	/10	段差（可・不可） 速度（遅い・普通・速い） 距離（メートル） 補助具（無・T杖・4点杖・歩行器・歩行車）	装具（有・無 _____） 床面段差（有・無） 転倒歴（有・無）		
		⑦車いす	5	4	3	2	1	/10	姿勢保持（良・不良） 自走（足こぎ・手操作） 座位耐久性（分）	自走型・介助型 手動・電動（ ） クッション（座・背） 床面段差（有・無） 転倒歴（有・無）		
	屋外	⑧歩行	5	4	3	2	1	/10	段差（可・不可） 速度（遅い・普通・速い） 距離（メートル） 補助具（無・T杖・4点杖・歩行器・歩行車）	装具（有・無 _____） 路面段差（有・無） 転倒歴（有・無） 路面環境（整地・不整地・坂道）		
		⑨車いす	5	4	3	2	1	/10	姿勢保持（良・不良） 自走（足こぎ・手操作） 座位耐久性（分）	自走型・介助型 手動・電動（ ） クッション（座・背） 路面段差（有・無） 路面環境（整地・不整地・坂道） 転倒歴（有・無）		
	⑩階段昇降	5	4	3	2	1	/10	2足1段 / 1足1段 手すり使用（有・無）	転倒歴（有・無） 手すり（無・右・左・両方） 昇降機・エレベーター			
III 移乗	⑪ベッド・いす・車いすに乗り移る	5	4	3	2	1	/10	いざり・プッシュアップ・立位 アプローチ（前方・側方・後方）	手すり・リフト・スライディング（ボード・シート） 座面高（低・普通・高） 座面高調整（要・不要）			
IV 食事	嚥下	⑫食事	5	4	3	2	1	/10	摂取方法：経口・経口と経管栄養 併用・経管栄養 所用時間：（ ）分 疲労（有・無） 摂取量：（ ）割 摂取回数：（ ）回/日 むせ込みの頻度：無・少・多 むせ込みの力：強・弱	食物形態：調整の必要性（有・無） （ごはん： おかず： ） 嚥下方法：複数回嚥下・交互嚥下・背上げ（度） ・その他（ ） 吸引器使用：有・無 使用者（ ）		
		⑬水分	5	4	3	2	1	/10	摂取方法：経口・経口と経管栄養 併用・経管栄養 摂取量：（ ）ml 摂取回数：（ ）回/日 むせ込みの頻度：無・少・多 むせ込みの力：強・弱	水分形態：増粘剤の使用（有・無）・ゼリー化 水（ ）mlに対して増粘剤（ ）g 嚥下方法：複数回嚥下・交互嚥下・背上げ（度） その他（ ） 吸引器使用：有・無 使用者（ ）		
		⑭服薬	5	4	3	2	1	/10	服薬方法：経口・非経口（ ） むせ込みの頻度：無・少・多 むせ込みの力：強・弱	薬剤の形態：錠剤・散剤・カプセル・オブラート ゼリー・水分に溶かす・食物等への添加 その他（ ）		
	⑮食事動作	5	4	3	2	1	/10	使用している側（利き手・非利き手） 食事姿勢（いす座位・車いす・リクライニング車いす・ベッド）	箸・スプーン・フォーク 自助具（ ） 装具（有・無 _____） 介助者（ ） 介助力（良・不良）			
V 排泄	⑯トイレ動作	5	4	3	2	1	/10	便座の立ち座り（可・不可） 清拭（可・不可） 下衣の上げ下ろし（可・不可） 特記事項（ ）	実施場所（トイレ・居室・その他） 用具（ポータブルトイレ・尿器・手すり・その他の用具（ ））			
	⑰排尿管理	5	4	3	2	1	/10	失禁（有・無） 頻度（週1回程度の失禁・1日1回以上の失禁） 特記事項（ ）	服薬管理（要・不要） 時間誘導（要・不要） （オムツ使用・パッド使用・リハビリパンツ使用） その他環境配慮（ ）			
	⑱排便管理	5	4	3	2	1	/10	失禁（有・無） 頻度（週1回程度の失禁・1日1回以上の失禁） 特記事項（ ）	服薬管理（要・不要） 時間誘導（要・不要） （オムツ使用・リハビリパンツ使用） その他環境配慮（ ）			

VI 入浴	⑱入浴	5	4	3	2	1	/10	()回/週 浴槽の入り方(立ちまたぎ・座りまたぎ・シャワー浴) 浴室内移動(可・不可・見守り) 支持物の使用(有・無) 特記事項()	場所(自宅浴室・施設・その他()) 用具(バスボード・手すり・その他()) 介助人数()人 家族・ヘルパー・その他		
	⑳洗体	5	4	3	2	1	/10	()回/週 体前面(可・不可) 背中/殿部(可・不可) 足先(可・不可) その他()	場所(自宅浴室・施設・その他()) 用具(シャワーチェア・手すり・その他()) 介助人数()人 家族・ヘルパー・その他		
VII 着替え	㉑上衣 (下着も含む)	5	4	3	2	1	/10	座って実施・立って実施 服を整えることの介助(要・不要) 特記事項()	自助具の使用(有・無 _____) 普段着ている衣服の形態() 介助者(家族・ヘルパー)		
	㉒下衣 (下着も含む)	5	4	3	2	1	/10	臥位で実施・座って実施・立って実施 服を整えることの介助(要・不要) 特記事項()	自助具の使用(有・無 _____) 普段着ている衣服の形態() 介助者(家族・ヘルパー)		
VIII 整容	㉓洗顔	5	4	3	2	1	/10	座って実施・立って実施 十分に洗えている(可・不可) 習慣的に実施・入浴時のみ その他()	場所() 用具() その他環境配慮()		
	㉔整髪	5	4	3	2	1	/10	座って実施・立って実施 清潔に保っている(可・不可) 特記事項()	場所() 用具() その他環境配慮()		
	㉕ひげ剃り、化粧	5	4	3	2	1	/10	頻度(習慣的・外出時・たまに) 肌の手入れ程度・化粧をする 特記事項()	場所() 用具() その他環境配慮()		
IX 口腔衛生	㉖歯磨き	5	4	3	2	1	/10	使用している側(利き手・非利き手) 義歯()	歯ブラシ・粘膜用ブラシ・歯間ブラシ・舌ブラシ 自助具の使用(有・無 _____) その他()		
	㉗うがい	5	4	3	2	1	/10	ガラガラうがい・ブクブクうがい・清拭・吸引	コップ(普通・自助具)・ガーゼ・スポンジブラシ・ 吸引機能付きブラシ・吸引器		
X 参加・活動	㉘趣味・余暇活動	5	4	3	2	1	/10	行っていること() 頻度()回/週 特記事項()	<道具や環境の配慮>		
	㉙家庭内の役割	5	4	3	2	1	/10	行っていること() 頻度()回/週 特記事項()	<道具や環境の配慮>		
	㉚外出	5	4	3	2	1	/10	目的の場所へ外出できている(可・不可) 場所() 外出頻度()回/週 特記事項()	用具() 介助者(家族・その他()) その他環境的配慮()		
XI 管理	㉛金銭管理	5	4	3	2	1	/10	特記事項()	管理者(家族・その他()) その他環境的配慮()		
	㉜服薬管理	5	4	3	2	1	/10	飲み忘れ(しばしば・時々・ごくまれに・なし) 特記事項()	用具(服薬カレンダー・ボックス・一包化・ セット者(家族・その他()) その他環境的配慮()		

評価項目		良好	やや良好	援助にて可	やや困難	困難	主観的 実行度	予 後 予 測	実際に行っている状態	環境 (人的・物理的)	問題点 ・身体 ・高次脳 ・環境 ・精神 ・認知 など	優 先 項 目	優先項目にした根拠
★ Ⅻ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	理解	㉓指示理解	5	4	3	2	1	/10	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・ その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・補聴器・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）			
		㉔会話理解	5	4	3	2	1	/10	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・ その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・補聴器・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）			
		㉕メディア 情報の理解	5	4	3	2	1	/10	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・ その他（ ）	①物品：テレビ・新聞・雑誌・ラジオ・パソコン・ 携帯電話・その他（ ）			
	表 出	㉖基本的要求 の表出	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はい/いいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器（ ）・ その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）			
		㉗日常会話	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はい/いいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器（ ）・ その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）			
		㉘複雑な内容 の意思伝達	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はい/いいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器（ ）・ その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）			
	対 人 交 流	㉙家族または 身近な支援者 との交流	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はい/いいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器（ ）・ その他（ ）	①対象者：家族・友人・知人・スタッフ・ その他（ ） ②場所：自宅・自宅外（ ）			
		㉚家族以外の 人との交流	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はい/いいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器（ ）・ その他（ ）	①対象者：友人・知人・スタッフ・ その他（ ） ②場所：自宅・自宅外（ ）			

< 予後予測欄の記入方法 > ◎…改善可能 ○…維持可能 △…改善・維持の可能性低い

★コミュニケーションについては、マニュアルの評価基準を参照

<見込まれる効果>

<得られた効果>

<残された課題>